

第91期社員総会
報告第3号

平成30年5月11日

会員 各位

100周年記念事業組織委員会
委員長 田辺 新一

創立100周年記念事業報告

創立100周年記念事業に御尽力、御協力を頂き心より感謝しております。無事に一連の行事を終了できましたのも会員の皆様のお力によるものと強く思っております。100周年記念事業では、次の100年に続く行事を行って参りました。その記念事業の概要を下記にご報告致します。

記

1.理事会

下表のとおり理事会にて承認ならびに了承を得た。

開催日	内容
平成27年7月16日	平成27年度 第3回理事会 以下を承認した。 ①100周年の位置づけ ②予算 ③委員会組織体制 ④記念事業行事内容・コンセプト
平成28年3月17日	平成27年度 第6回理事会 ①記念式典等の開催日ならびに基本方針を承認した。 開催日 平成29年12月1日(金) 会 場 明治記念館 蓬萊の間(記念式典、記念講演) 富士の間(記念祝賀会)
平成28年5月12日	平成28年度 第2回 理事会 ①理事退任に伴う新委員会体制を了承した。
平成28年7月15日	平成28年度 第3回 理事会 ①会員規程に規定する臨時会費の徴収方法等を承認した。
平成28年10月21日	平成28年度 第3回 理事会 以下を承認した。 ①趣意書 ②特別会費ならび協賛金納入のお願いの送付等
平成29年10月13日	平成29年度 第4回 理事会 以下を承認した。 ①100周年記念事業報告(中間報告) ②21世紀ビジョン・プラス

	③ZEB先進事例集 ④環境と空気・水・熱
--	-------------------------

2.100周年記念事業組織委員会

下表のとおり委員会を開催し審議決定した。

開催日	内容
平成27年6月22日	100周年記念準備会合
平成27年9月16日	第1回 100周年記念事業組織委員会
平成27年10月30日	第2回 100周年記念事業組織委員会
平成27年12月17日	第3回 100周年記念事業組織委員会
平成28年3月17日	第4回 100周年記念事業組織委員会
平成28年4月22日	第5回 100周年記念事業組織委員会
平成28年5月18日	第6回 100周年記念事業組織委員会
平成28年6月12日	第7回 100周年記念事業組織委員会
平成28年7月15日	第8回 100周年記念事業組織委員会
平成28年8月23日	100周年記念事業組織委員会 幹事会
平成28年10月21日	第9回 100周年記念事業組織委員会
平成28年12月16日	第10回 100周年記念事業組織委員会
平成29年3月17日	第11回 100周年記念事業組織委員会
平成29年4月21日	第12回 100周年記念事業組織委員会
平成29年7月21日	第13回 100周年記念事業組織委員会
平成29年10月13日	第14回 100周年記念事業組織委員会

3.100周年記念事業組織委員会

詳細は以下のとおり

■公益社団法人空気調和・衛生工学会

会長 奥宮正哉
副会長 田辺新一、田ノ畑好幸、阿部靖則

■100周年記念事業組織委員会

委員長 田辺新一(副会長)
総務理事 武田晃成、山本一郎
財務理事 立石賢太、熊谷雅彦
学術理事 大岡龍三、竹部友久、柳宇
教育普及理事 村西良司、坂下行範、古閑幸雄
技術理事 月館司、浅野勝弘、倉田雅史
出版理事 近藤明、舟里忠益、高口洋瑞
会員・情報理事 平岡秀明、井上純一、楠本晃典
財務部会 五味弘
提言作成部会 倉淵隆
学会アテンテイティ部会 福井博俊
給排水衛生部会 大塚雅之
委員 赤司泰義、今岡浩司、木虎久隆、小瀬博之、竹之内元、中村和人、西名大作、西村英樹、平岡雅哉、藤野健治、村田恭夫、吉野一

■記念式典部会

部会長 武田晃成
委員 荒井麻紀子、大岡龍三、五味弘、富樫英介、立石賢太、中村和人、村田恭夫、山本一郎

■財務部会

部会長 五味弘
委員 竹之内元、立石賢太、田ノ畑好幸、中村和人、西村英樹、村田恭夫

■提言作成部会

部会長 倉淵隆
幹事 鳥海吉弘
委員 阿久津太一、穴井俊博、伊藤一秀、梶山隆史、河上朋義、木村崇、久保井大輔、小瀬博之、児玉雅美、笹本太郎、田辺新一、中野淳太、樋山恭助、弘本真一、水出喜太郎、森田英樹、谷知剛、山下周一、吉原和正、米澤仁、和田一樹、加藤信介(相談役、元会長)

・ZEB 先進事例集作成分科会(ZEB 計画指針検討小委員会)

主査 丹羽英治
幹事 竹部友久、尹奎英
委員 鶴飼真貴子、大岡龍三、大和田淳、奥宮正哉、木虎久隆、木村員久、倉淵隆、坂井友香、笹本太郎、佐藤孝輔、清水洋、田中拓也、田辺新一、張偉榮、富樫英介、中川優一、野部達夫、和田一樹
編集協力 植田俊克、中村真、結城了介、渡邊美奈子

■学会アイデンティティ部会

部会長 福井博俊
委員 安田勝彦、山本智美、渡邊賢太郎

■給排水衛生部会

部会長 大塚雅之
幹事 稲田朝夫、小瀬博之、長谷川巖
委員 安澤百合子、杉本遼太、鈴木孝彦、土井章弘、豊貞佳奈子、中野民雄、西川豊宏、藤村和也、本郷智大、松村佳明、光永威彦、結城晶博

■表彰 WG

主査 平岡秀明
委員 井上純一、今岡浩司、楠本晃典、藤野健治

■記念学会誌 WG

主査 舟里忠益
委員 伊東民雄、川上理亮、小瀬博之、近藤明、鈴木拓宏、高口洋瑞、高橋幹雄、中野淳太、吉田篤正

■学会誌電子化 WG

主査 井上純一
委員 今岡浩司、楠本晃典、平岡秀明、藤野健治、舟里忠益

■100周年記念出版 WG

主査 近藤明
委員 小瀬博之、高口洋瑞、舟里忠益

■学会ホームページリニューアル WG

主査 藤野健治
 部員 今岡浩司、平岡秀明

■講演会・シンポジウム・セミナーWG

主査 赤司泰義、村西良司
 委員 大岡龍三、古閑幸雄、坂下行範、竹部友久、柳宇、吉野一

■記念支部行事WG

主査 木虎久隆、浅野勝弘
 委員 各支部運営委員

■国際対応WG

主査 大岡龍三
 委員 赤司泰義、秋元孝之、小瀬博之、竹部友久、前川哲也、柳宇

■環境と空気、水、熱WG

主査 平岡雅哉
 幹事 佐藤正章
 委員 秋元孝之、荒井義人、大塚雅之、桂木宏昌、加藤美好、柴田克彦、中村真、長谷川巖、林立也

■事務局

事務局長 杉山 敦
 事業グループリーダー 中出 智英子
 グループ員 磯辺 孝和、桐戸 可奈、小池 陽介、小泉 幸子、杉田 聡、半田 務
 管理グループリーダー 谷地 史孝
 グループ員 大窪 尚子、大津 良裕、影山 英樹、衣笠 志保、高瀬 直紀

4.創立 100 周年記念事業 記念式典・記念祝賀会

■創立 100 周年記念式典(第 I 部)

日 時 平成 29 年 12 月 1 日(金) 15 時 00 分～17 時 50 分
 会 場 明治記念館 蓬莱の間
 東京都港区元赤坂 2-2-23 電話(03)3403-1171
 定 員 400 名／出席者 525 名
 参加費 無料

◆プログラム

1.開会の辞	100 周年記念事業組織委員会委員長 副会長 田辺 新一
2.会長挨拶	会長 奥宮 正哉
3.来賓挨拶	文部科学大臣 林 芳正 様 代理 文部科学省 研究振興局長 関 靖直 様
	経済産業大臣 世耕 弘成 様 代理 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 政策課長 茂木 正 様
	国土交通大臣 石井 啓一 様 代理 国土交通省 住宅局長 伊藤 明子 様
4.海外招待者祝辞	米国暖房冷凍協会 ASHRAE 会長 Bjarne W. Olesen 様 Professor, Technical University of Denmark

	注:海外招待者は別表のとおり
	109名(当日出席37名) 代表者挨拶 針ヶ谷 純吉様
6.「これからの100年」	会長 奥宮 正哉
7.創立100周年記念事業の紹介	100周年記念事業組織委員会委員長 副会長 田辺 新一
8.記念講演(60分)	講師 松尾 豊氏 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授 演題 「人工知能は人間を超えるかーディープラーニングの先にあるものー」
7.閉会の辞	副会長 田ノ畑 好幸

◆海外招待者

海外協力団体	出席者
台湾建築学会(AIT)	Cheng-Li Cheng, Dr., Professor President of Architectural Institute of Taiwan (AIT)
米国暖房冷凍協会(ASHRAE)	Bjarne W.Olesen Professor, Technical University of Denmark
中国建築学会暖通空調委員会(CCHVAC)	Professor XU Wei Chairman, China Committee of Heating Ventilation and Air Conditioning Director, Institute of Built Environment and Energy China Academy of Building Research
インド暖房冷凍空調学会(ISHRAE)	Vishal Kapur National President Indian Society of Heating, Refrigerating and Air-conditioning Engineers
韓国親環境設備学会(KIAEBS)	Professor Myung-Jun Kim President of KIAEBS The Korean Institute of Architectural Sustainable Environment and Building Systems
欧州暖房換気空調設備協会(REHVA)	Prof. Ph. D. Stefano P. Corgnati REHVA President Federation of European Heating, Ventilation and Air Conditioning Associations
大韓設備工学会(SAREK)	Hong Hiki President SAREK, Republic of KOREA Society of Air-Conditioning and Refrigeration Engineers of KOREA

■創立100周年記念祝賀会(第Ⅱ部)

日 時 平成29年12月1日(金) 18時00分～19時30分

会 場 明治記念館 富士の間

東京都港区元赤坂2-2-23 電話(03)3403-1171

定 員 500名/出席者533名

参加費 10,000円

◆プログラム

1.開会の辞	会長 奥宮 正哉
2.来賓祝辞	国土交通副大臣 秋元 司 様
	一般社団法人日本建築学会 会長 古谷 誠章 様
	一般社団法人日本空調衛生工事業協会 会長 長谷川 勉 様
3.乾杯	田中 俊六様(元会長、東海大学名誉教授)
4.閉会の辞	副会長 阿部 靖則

■配布資料

- 1.創立 100 周年 記念式典・祝賀会パンフレット
- 2.21 世紀ビジョン・プラス
- 3.ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)先進事例集
- 4.環境と空気・水・熱
- 5.記念講演会テキスト
- 6.新ロゴ手提げ袋
- 7.業界紙特集号(2 社)

5.決算報告

1)特別会費

357 社 24,120,000 円

2)協賛金

個人 190 名、会社・団体 21 社 3,505,005 円

3)事業支出

事業	予算	決算
式典部会	3,500,000	5,268,409
提言部会	700,000	1,744,338
学会アソシエイト部会	2,400,000	2,444,200
給排水衛生部会	500,000	715,167
表彰 WG	1,100,000	330,000
記念学会誌 WG	800,000	706,089
学会誌電子化 WG	2,400,000	3,756,775
記念出版 WG	700,000	54,000
ホームページリニューアル WG	2,000,000	1,850,000
講演会・セミナー・シンポジウム WG	2,600,000	345,026
記念支部行事 WG	800,000	648,151
国際対応 WG	1,000,000	1,516,893
環境と空気・水・熱 WG	3,500,000	3,840,650
合計	22,000,000	23,219,698

4)特記事項

支出には消費税などの公租公課が生じる。収支決算の結果、公租公課を差し引くと収支はほぼ均衡であった。なお、余剰があった場合は公益目的事業に支出する。

6.創立 100 周年記念事業部会WG

詳細は別紙のとおり

以上

100周年記念事業した業組織委員会 事業報告

部会WG名	01・記念式典部会
部会長・主査名	部会長 武田 晃成
事業内容	<p>本事業では、100周年記念式典・祝賀会を2018年12月1日に明治記念館で開催するためのプログラムの作成、招待者の選定、祝辞の依頼、会場準備、式典パンフレットの作成、100年の歴史を振り返るスライドの作成を行い、当日は、記念式典525名、祝賀会533名参加と予定を上回る参加者数となり、盛況な開催となった。</p> <p>1.活動内容</p> <p>1) 記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝辞 文科省、経産省、国交省の各大臣祝辞を各省の局長・部長から代読でご紹介頂き格調高い式典となった。海外からはASHIRAEのOlesen会長をはじめ7団体が参加され、各団体からお祝いの言葉を頂いた。 ・永年表彰 109名の対象者のうち37名が式典に出席し、代表して針ヶ谷氏が表彰を受けた。表彰後に式典出席者と現会長等との集合写真を撮影した。 ・奥宮会長からは、「これからの100年」として21世紀ビジョンプラスの紹介と今後に向けての学会の決意を述べた。 ・田辺委員長からは、100周年事業の概要、多くの記念出版物や記念しての各種イベント、各委員会での活動などを紹介。 ・記念講演 AI研究の第一人者であり、当学会の第46代松尾陽会長の甥である、東京大学松尾豊准教授から「人口知能は人間を超えるか」と非常に旬な内容の講演があり、海外招待者からも質問が出るなど非常に興味深い記念講演となった。 ・100周年を記念して、海外招待者と学会幹部の集合写真を撮影した。後日、RHEVAのホームページにも式典や祝賀会参加の様子が掲載された。 ・配布資料 式典パンフレット、21世紀ビジョンプラス、ZEB先進事例集、「環境と空気・熱・水」、記念講演会テキスト、新ロゴ手提げ袋、業界紙特集号。 <p>2) 記念祝賀会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝辞 国交省秋元副大臣、建築学会古谷会長、日空衛長谷川会長から祝辞を頂き、元会長を代表して田中俊六名誉教授に乾杯のご挨拶を頂いた。 ・会場は500名を超え盛況な状況で、海外招待者や、永年会員、省庁・多協会団体招待者など各所で歓談が行われ盛況なまま終了した。 ・最後に理事が参加者を見送り、空衛学会の旧ロゴバッジをお土産として渡した。 <p>3) パンフレット・スライドショーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念出版委員会作成の100年の歴史をまとめた年表を中心に、設立時の紹介と式典のプログラムを内容とするパンフレットを作成。 ・学会創設から100年を振り返る過去の写真を配列して歴史を紹介するスライド作成し、待ち時間や休憩時間に会場に映写した。式典の重みを増し、過去を振り返る雰囲気を出した。 <p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別会費の納入企業、協賛金の納入者には、当日配布資料一式を後日送付、祝辞を頂いた各大臣及び省庁にはお礼状をお渡しした。

2.委員メンバー

部会長 武田晃成

委員 大岡龍三、五味弘、立石賢太、中村和人、村田恭夫、山本一郎
富樫英介（スライド作成）、荒井麻紀子（パンフレット作成）

編集協力 ㈱ブリッジスタイル

3.記念式典・記念祝賀会の検討

1) 招待状送付

①祝辞 6 団体（行政機関、団体）

②海外招待者 10 団体

③行政機関 14 団体

④日本学会会議 4 名

⑤学協会 41 団体

⑥関係会社 10 社

2) 創立 100 周年記念式典（第 I 部）

日時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 15 時 00 分～17 時 50 分

会場 明治記念館 蓬莱の間

東京都港区元赤坂 2-2-23 電話 (03) 3403-1171

定員 400 名

参加費 無料

【プログラム】

15 : 02 1.開会の辞 100 周年記念事業組織委員会委員長 副会長 田辺 新一

15 : 04 2.会長挨拶 会長 奥宮 正哉

15 : 08 3.来賓挨拶

文部科学大臣 林 芳正 様

代理 文部科学省 研究振興局長 関 靖直 様

経済産業大臣 世耕 弘成 様

代理 経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 政策課長 茂木 正 様

国土交通大臣 石井 啓一 様

代理 国土交通省 住宅局長 伊藤 明子 様

15 : 26 4.海外招待者祝辞 1 団体

米国暖房冷凍空調学会（ASHRAE）会長 Bjarne.W. Olesen 様

海外招待者のご紹介 6 団体

台湾建築学会（AIT）、中国建築学会暖通空調委員会（CCHVAC）、

インド暖房冷凍空調学会（ISHRAE）、韓国親環境設備学会（KIAEBS）、

欧州暖房換気空調設備協会（REHVA）、大韓設備工学会（SAREK）

15 : 46 5.永年会員表彰 109 名 代表挨拶 針ヶ谷 純吉様

～ 休憩 ～

- 16:14 6.「これからの100年」 会長 奥宮 正哉
- 16:30 7.創立100周年記念事業の紹介
100周年記念事業組織委員会委員長 副会長 田辺 新一
- 16:45 8.記念講演(60分)
講師 松尾 豊氏 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
演題 「人工知能は人間を超えるか -ディープラーニングの先にあるもの-」
- 17:50 9.閉会の辞 副会長 田ノ畑 好幸

●創立100周年記念祝賀会(第Ⅱ部)

日時 平成29年12月1日(金) 18時00分～19時30分

会場 明治記念館 富士の間
東京都港区元赤坂2-2-23 電話(03)3403-1171

定員 500名

参加費 10,000円

【プログラム】

- 18:01 1.開会の辞 会長 奥宮 正哉
- 18:05 2.お祝いの言葉
国土交通副大臣 秋元 司 様
一般社団法人 日本建築学会 会長 古谷 誠章 様
一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 会長 長谷川 勉 様
- 18:23 3.乾杯 元会長 田中 俊六 様 東海大学名誉教授
～ 歓談 ～
- 19:27 4.閉会の辞 副会長 阿部 靖則

4.記念式典・記念祝賀会参加者

招待者等	記念式典	記念祝賀会
国内招待者	61名	72名
海外招待者	18名	18名
永年会員	37名	37名
関係会社等	15名	20名
会員等	394名	386名
合計	525名	533名

注：海外招待者には随行を含む



100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	03・提言作成部会
部会長・主査名	部会長 倉渕 隆
事業内容	<p>平成 28 年 9 月 21 日より活動を開始し、平成 28 年度には 5 回、平成 29 年度には 6 回、計 11 回の SHASE21 世紀ビジョン・プラス委員会を開催した。また、部会長、主査および主要メンバーによる幹事会も必要に応じて開催した。</p> <p>検討作業としては、前回ビジョンの見直しに始まり、社会情勢の変化や ZEB の成果を委員間で共有した。BIM に関しては、どの段階で設備設計や設備施工が関与するのか、また、AI・IoT の活用や具体的な応用事例などについても議論し、ダイバーシティやウェルネスなどについても検討した。委員会での議論が深まるにつれ、前回ビジョンと設定すべき目標の違いが明確となり、Society 5.0 や二国間クレジットなどといった新しい注目される動きも取り込んでいくこととなった。BCP についても給排水衛生分野を加えて充実化を図った。</p> <p>空気調和・衛生工学会大会（高知）で開催されたワークショップは、会員からのご意見聴取を目的としたものであり、21 世紀ビジョン・プラスのサブタイトルを「新技術との連携による建築設備分野の領域拡大と高度合理化 — 超低炭素社会を目指して —」とし、①産業構造の改革、② ZEB の普及と超低炭素社会への圧倒的寄与、③高度合理化のための基盤整備と普及促進の 3 つの提言を、プラットフォームとしての学会が支える構造であることを示した。ワークショップは平成 29 年 9 月 14 日の 14：10～16：40（大会二日目）に開催され、参加者は 90 名以上と盛況であった。環境の品質を低下させない ZEB、若手技術者・研究者の育成方法、エネルギー問題の後に来る水問題など、活発な議論が行われたものの、テクニカル・セッションとの平行開催であったことにも影響し、今後の業界・学会を支える若手の参加者が少ないことは残念であった。</p> <p>平成 29 年 10 月 13 日に開催された第 4 回理事会では、ワークショップでの指摘事項を反映させ、英訳を加えた原案を提出し、理事会の了承を得た。また、原案からパンフレットの見本を作成した。サブタイトルは、「新技術との連携による建築設備分野の領域拡大と高度合理化 — 超低炭素社会の実現を目指して —」とした。</p> <p>平成 29 年 12 月 1 日に開催された創立 100 周年記念式典（第 I 部）にてパンフレットを配布した。式典には 500 名以上の関係者が参加した。原案の他、原案の根拠資料を作成し、ほぼ当初の目的を達成した。</p>

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	提言作成部会 ZEB 先進事例集作成分科会 (ZEB 計画指針検討小委員会)
部会長・主査名	主査 丹羽 英治
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の ZEB に関する活動の成果を、広くわかりやすく発信するため、ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 先進事例集というパンフレットを作成した。 ・100周年記念事業及び国内外での使用を想定して、ISBN コード 978-4-87418-065-5 を取得した。 ・英文併記とすることで、海外向け発信ツールとしても活用する。 ・ZEB 計画指針検討小委員会の活動として作成し、小委員会メンバーが関係する 10 件の事例に、設備工事会社の事例 4 件を加え、合計 14 件を掲載した。 ・提言作成部会傘下の ZEB 先進事例集作成分科会として組織上のリエゾン化を行った。 ・1,500 部を作成し、作成費用として、627,000 円を計上した。 <p>パンフレット概要</p> <p>名 称： ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 先進事例集</p> <p>体 裁： A4 サイズカラーパンフレット (ホッチキス留め) 36 ページ (表紙含)</p> <p>掲載内容： ZEB ガイドラインの紹介、国内の ZEB 先進事例 14 件 見開きで写真とともに採用技術を解説 和文英文併記 (図表で併記できない場合は英文のみ)</p> <p>委 託 先： 編集・印刷：デザイン、編集、印刷は㈱東京デザインセンターに委託 英訳ネイティブチェックはカクタス・コミュニケーションズ㈱に委託</p> <p>成 果 物： オフセット印刷 1,500 部、納品データ (Illustrator、pdf、pdf プロ用)</p>

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	04・学会アイデンティティ部会
部会長・主査名	部会長 福井 博俊
事業内容	<p>1.活動目的 新ロゴマークを制定し、国内商標登録を行う。</p> <p>2.メンバー 委員 安田勝彦、山本智美、渡邊賢太郎 岡本健デザイン事務所 岡本健、紺野達也 事務局 杉山敦</p> <p>3.部会開催 全6回 ①平成28年8月25日、②9月12日、③10月18日、④12月1日 ⑤平成29年2月14日、⑥4月17日</p> <p>4.活動内容 (1) 新ロゴマーク制定 長年親しまれてきた旧デザインを踏襲しながら、電子化に対応し、応用性や視認性、耐久性を備えた品質に再構築し現代的なデザインとした。 ・ロゴマーク ログとマークの組合せ9種類 (ai、jpg、pdf、pngの各データ) ・使用方法に関するマニュアル、標準フォーマット (ppt、docの各データ) 第90期社員総会 (平成29年5月11日)、学会誌 (平成29年5月号)、学会ホームページに公開し使用を開始した。</p> <p>(2) 国内商標登録 東京知財事務所に依頼し、第9類 (電子出版物)、第16類 (印刷物)、第41類 (セミナー・講演会・学術文化) の3区分について国内商標登録申請を行った。</p> <p>(3) 費用 デザイン費等 2,200,000円 (岡本健デザイン料200万円、事務所表札等20万円) 商標調査費 125,000円 (東京知財事務所) 商標出願費 119,200円 (東京知財事務所) 商標審査費 212,000円 (拒絶理由通知がなければ発生しない) 商標登録費 205,600円 (10年分の登録費を含む)</p> <p>計 2,861,800円 (10年後に、更に10年分登録費240,400円が発生する)</p> <p>新規ロゴマーク</p> <div style="text-align: center;">  <p>公益社団法人 空気調和・衛生工学会 The Society of Heating, Air-Conditioning and Sanitary Engineers of Japan [SHASE]</p> </div> <p>現行ロゴマーク</p> <div style="text-align: center;">  <p>公益社団法人 空気調和・衛生工学会 The Society of Heating, Air-Conditioning and Sanitary Engineers of Japan</p> </div>

100周年記念事業した業組織委員会 事業報告

部会WG名	05・給排水衛生部会
部会長・主査名	部会長 大塚 雅之
事業内容	<p>事業内容は、以下の3回の連続シンポジウムを開催するとともに、次世代に繋ぐ給排水衛生設備技術に関するロードマップの検討を行った。</p> <p>1) 第1回シンポジウム</p> <p>日 時：平成29年10月27日（金）13：30～17：00</p> <p>題 目：「大規模災害後のBCP・LCPに対応する給排水衛生設備の計画・設計と対策を考える」</p> <p>参加者：64名</p> <p>大地震後の被害報告や緊急対応策等については数多く報告されているが、大規模災害に伴う広域・長期間の渡るライフラインの途絶を想定した給排水衛生設備の計画・設計手法と在宅避難時の給排水設備の被害診断と運用の考え方などについては、十分議論されていない。このシンポジウムでは、BCPやLCPに配慮した新たな給排水衛生設備をメインとした計画・設計手法の提案、居住者の被害時の設備対策等について各専門の講師から発表された。講演は、建築設備計画・設計のあり方からBCP・LCPに配慮した計画設計についての解説、防災拠点建築の設計例や集合住宅を対象とした給排水設備の被害診断など多岐にわたり、パネルディスカッションでは、パネラーの各講師、参加者らにより現状課題や今後の展望について議論が深められた。</p> <p>2) 第2回シンポジウム</p> <p>日 時：平成29年11月17日（金）15：00～17：30</p> <p>題 目：「次世代の給排水衛生設備への期待と展望」</p> <p>参加者：32名</p> <p>次世代の給排水衛生設備にふさわしい技術や知見を整理し、今後の研究や実務の課題として把握していくため、本部会で検討した給排水衛生設備のロードマップの全体像および給水・衛生器具設備分野、給湯設備分野、排水設備分野の将来像について若手技術者が発表した。パネルディスカッションでは、BIM、IoT、スマートウェルネスなど情報技術の発展による設計・施工・維持管理手法の進展や生活の質の向上に対する展望、また、建築における給排水衛生設備の先端システムの採り入れに対する若手技術者の活躍への希望などを議論した。</p> <p>3) 第3回シンポジウム</p> <p>日 時：平成29年12月7日（木）15：00～17：30</p> <p>題 目：「次世代がめざす給排水衛生設備の新技术—若手研究者・技術者が語る将来像—」</p> <p>参加者：40名</p> <p>給排水衛生設備分野の研究と技術における望ましい将来像や新技术の方向性を見出すため、幅広いテーマを選定し各専門の講師から発表された。講演は、超高齢社会での水廻り設備や地域ケアシステム、動的給水負荷算定法、サイホン排水システム、メタン発酵技術、配管技能者の育成など多岐にわたる内容であった。パネルデ</p>

	<p>ディスカッションでは、各講師より次世代へ向け、サイホン排水の課題は設計法の確立やノウハウの蓄積であること、各企業の蓄積されたデータを研究者が解析し社会へ発信する必要があること、「健康・安全・安心」と「低炭素化」を両立させるためにはライフスタイルの変革も必要であることなどの次世代給排水設備を考える上で、参考となる意見が出された。</p> <p>4) ロードマップの素案は完成しているので、更に内容を審議し充実させた上で、コンセンサスを得て、本学会ホームページや会誌等で公開することを継続して検討する。</p>
--	---

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	06・表彰WG
部会長・主査名	主査 平岡 秀明
事業内容	<p>1. 活動目的 100周年を記念して表彰対象を設定し、表彰状の授与を行う。</p> <p>2. メンバー 委員 井上純一、今岡浩司、楠本晃典、藤野健治</p> <p>3. 活動内容</p> <p>(1) 100周年記念事業での表彰者対象の選考 90周年記念式典での永年会員表彰（会員歴45年以上の方々）に倣い、会員歴50年以上の正会員とした。</p> <p>(2) 100周年記念式典での永年会員表彰 空気調和・衛生工学会の活動を長年に渡り支え、かつ空気調和・衛生技術の発展に尽力されて来られた、本会の正会員に、表彰状をお贈り感謝の意を表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰対象の方々 長きに渡る貢献に敬意を表し会員歴50年以上の109名の方々を表彰 ・100周年記念式典並びに100周年記念祝賀会へのご招待 多数の方々（37名）のご臨席賜る 他の方（72名）へ表彰状を送付 ・100周年記念式典での表彰状授与、並びにご挨拶を頂く ご臨席の中からご代表者1名の方（針ヶ谷純吉氏） ・100周年記念式典での記念撮影 ご臨席みなさまの集合写真を撮影 <p>(3) 永年会員表彰者の周知 表彰者の栄誉を長く記録に残すため、表彰者のお名前を周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰者（109名）みなさまのお名前を学会誌へ記載 平成30年3月号に表彰者名を記載した。 <p style="text-align: right;">以上</p>

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	07-記念学会誌 WG
部会長・主査名	主査 舟里 忠益
事業内容	<p>本事業では、学会誌委員会の創立100周年記念特集号WGと一体で、学会100周年を節目として、設備技術や設備エンジニアの働き方、学会の取り組みなど幅広く将来を予測し、魅力ある将来像を描くことをコンセプトとして企画し、発信することにより、今後の設備エンジニアの技術の深耕拡大及び学会活動の発展に繋げる事を目的に、学会誌各小委員会を含めたすべての委員、関係各委員会、支部メンバーが参画し、2017年5月号から12月号まで連続した8か月間の特集を組み、好評を博した。</p> <p>1) 2017年5月号特集 8つのトライ-2030年に向けた次世代空調システム（次世代空調システム研究委員会） また、「創立100周年記念 広告博物館（過去の広告と現在の広告を並べて掲載）」とのページを企画し、掲載した。</p> <p>2) 2017年6月号特集 北海道，東北，中部，北信越，近畿，中国・四国そして九州支部のあゆみとこれから（各支部）</p> <p>3) 2017年7月号特集 学会賞特集（第55回学会賞、特別賞第17回十年賞・第5回リニューアル賞、第31回振興賞技術振興賞、第26回篠原記念賞、第7回井上宇市賞、第14回功績賞、過去の受賞歴一覧）</p> <p>4) 2017年8月号特集 ICTと建築設備の将来に向けて（学会誌委員会熱源・設備原論小委員会）</p> <p>5) 2017年9月号特集 安全と建築設備の将来-過去の変遷をふまえて-（学会誌委員会給排水衛生・水環境小委員会）</p> <p>6) 2017年10月号特集 快適性への建築設備のかかわりと未来（学会誌委員会空調・空気環境小委員会）</p> <p>7) 2017年11月号特集 第1特集 創立100周年記念大座談会-過去,現在,そして未来に続く研究・技術・学会のあり方 を語る-(100周年記念特集号WG) 座談会1 “2017年 空調技術と仕事に思うこと、話したいこと” （司会：早稲田大学田辺新一先生） 座談会2 “次世代が語る給排水衛生設備のプラス・マイナス 20年” （司会：関東学院大学大塚雅之先生） 座談会3 “SHASE21世紀ビジョンを振り返り、技術の変遷，将来，夢を語る”（司会：芝浦工業大学秋元孝之先生） 第2特集 海外文献から展望する21世紀の建築設備技術（海外文献紹介小委員会）</p>

8) 2017年12月号特集

年報特集号（学会誌委員会年鑑・年報検討小委員会）

また、2018年1月号に国内外関連学協会等からの祝辞を掲載した。2018年3月号には関係3省庁の大臣祝辞、記念式典報告記事、記念事業の特別会費・協賛金を納入された企業と個人の一覧、永年会員表彰者一覧を掲載することとした。


100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	08・学会誌電子化WG
部会長・主査名	主査 井上 純一
事業内容	<p>1. 活動目的</p> <p>1997年以降は90周年記念事業にて電子化済みであるが、1917年第1号～1996年12月号の電子化を100周年記念事業として取り組み、1997年1月から発行後5年経過した学会誌を会員専用ページから移行し一般公開する。</p> <p>2. WGメンバー</p> <p>主査：井上 純一 幹事：楠本 晃典 委員：今岡 浩司、平岡 秀明、藤野 健治、舟里 忠益</p> <p>3. 活動内容</p> <p>1) 遺産（レガシー）</p> <p>1917年（大正6年）～1996年（平成8年）発行の学会誌を、表紙から裏表紙までを全てPDF化して保存する。</p> <p>2) PDF化した学会誌のホームページでの公開</p> <p>①一般への公開</p> <p>今回新たに、学会誌発行後5年経過したものは、検索機能を付与せずに、PDFのまま全て学会ホームページにて公開することとした。</p> <p>②ホームページでの公開方法</p> <p>a) 1917年（大正6年）～1996年（平成8年）出版分（会員、一般の区別なし）</p> <p>学会誌アーカイブページに、1917年（大正6年）～1996年（平成8年）の目次を分割して表示し、閲覧、データのダウンロードを可能とする。（キーワード検索機能なし）</p> <p>b) 1997年以降出版分</p> <p>会 員：現状のまま。 発行後1年を経過した学会誌の閲覧、本文ダウンロード可能。（キーワード検索機能有り）</p> <p>一 般：既に会員専用ホームページに公開されているため、アーカイブを利用して、発行後5年を経過した学会誌の閲覧のみ可能とする。（キーワード検索機能なし）</p> <p>3) 活動経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1917年（大正6年）～1996年（平成8年）のPDF化を完了し、会員、一般向けに、12月1日に公開済。 ・1997年（平成9年）以降 <p>会 員：2016年（平成28年）分まで公開済</p> <p>一 般：公開用として、会員専用のPDFを使用し、過去5年以降の閲覧のみを自動更新するシステムを、平成30年2月1日に公開した。</p>

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	09・出版 WG
部会長・主査名	主査 近藤 明
事業内容	<p>出版WGの作業は出版委員会において作成したため特にWGとしての開催は行わなかった。</p> <p>100周年記念事業としては下記の2項目の作業を行った。</p> <p>①100周年記念パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念式典で配布するための記念パンフレットの作成のための協議を行い、掲載内容(100年年表)・レイアウト・表紙について原案を作成していたが、パンフレット作成は記念式典部会が行うこととなったため、原案を式典部会に引き継いだあと作成作業を中止した。 ・費用 表紙デザイン料 40,000円 <p>②100周年のあゆみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・80周年記念で作成した「80周年のあゆみ」(1917年～1998年)より2017年までの20年間についてまとめた。 <p>100周年のあゆみはPDF版を作成し学会ホームページに掲載した(2018年12月)。</p> <p>内容は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歴代会長・副会長・理事名 2) 会員数 3) 大会(学術講演会) 4) 冷凍連合講演会 5) 教育普及関係 6) 設備士資格試験 7) 学会誌 8) 論文集 9) フェロー制度 10) 表彰関係 11) 国際交流 12) 規格 13) 出版 14) 委員会(学術・技術・特別・受託) <p>付録(学会の提言)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ～21世紀を支える環境設備技術の成長戦略と超低炭素ソリューション～ 2) 我慢をしない省エネー夏季オフィスの冷房に関する提言ー 3) ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の定義と評価方法 4) 東日本大震災国土・地域復興に関する7学会会長 共同宣言 <ul style="list-style-type: none"> ・費用 PDFデータ編集費 14,000円 <p style="text-align: right;">以上</p>

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	10-ホームページリニューアル WG
部会長・主査名	主査 藤野 健治
事業内容	<p>1.活動目的</p> <p>学会 100周年記念にあたりホームページのリニューアルを行う。</p> <p>2.WG メンバー</p> <p>委員：今岡 浩司、平岡 秀明 委託先：三機工業株式会社 事務局：杉山 敦、谷地 史孝、大津 良裕</p> <p>3.活動内容</p> <p>(1)ホームページの 100周年対応リニューアル内容</p> <p>1)トップ画面に 100周年記念ページへのリンクを設置した。 ※100周年記念ページの内容については、事務局が行っている作成・更新作業の範囲内とした。</p> <p>2)上記に併せ、会員継続・入会の増加を目的とし、閲覧し易いホームページへの改修を行った。(ホームページ内検索機能の設置、会員専用サイト内「各種資料ダウンロード」ページへの検索機能の追加、項目配置の変更、画像等のデザイン改修、横幅の拡大、フォント変更等) また、改修にあたっては、デザイン面、機能充実、改修後の内製化作業の容易性に配慮した。</p> <p>(2)費用について</p> <p>トップページの改修のみを外注し、その他のページの改修については事務局作業による対応とすることにより、費用は 1,998,000 円 (税込) に抑えることが出来た。</p> <p>(3)スケジュールについて</p> <p>2016年1月21日 検討開始 2016年7月19日 発注 2017年5月15日 公開</p> 

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	11-講演会・シンポジウム・セミナーWG
部会長・主査名	主査 赤司 泰義（前学術理事） 主査 村西 良司（教育普及理事）
事業内容	<p>1) 特別講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 5 月 11 日（木）（第 90 期社員総会後） ・講師：木村 建一 氏（当会元会長、早稲田大学名誉教授） ・演題：学会の百年遺産と将来像 ・会場：明治記念館 蓬莱の間 <p>2) 記念講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 12 月 1 日（金）（創立 100 周年記念式典内） ・講師：松尾 豊 氏（東京大学大学院工学系研究科 特任准教授） ・演題：人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの ・会場：明治記念館 蓬莱の間 <p>3) 若手・女性の活躍に向けたフォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 9 月 14 日（木） （平成 29 年度年次大会 スチューデントフォーラム） ・講師：宮坂 裕美子 氏（日建設計） ・演題：建築業界の働き方 ～今と未来～ ・会場：高知工科大学 E 会場（教育研究棟 A A107 教室） <p>4) シンポジウム（創立 100 周年の冠を付けて実施したもの）</p> <p>a)ビル管理システム委員会 既存 BEMS 保全・更新検討小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 3 月 27 日（月） ・テーマ：BEMS の保全・更新と蓄積データの有効活用 ・参加数：26 名 <p>b)住宅設備委員会 住宅設備のリサイクル推進検討小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 3 月 29 日（水） ・テーマ：住宅設備のリサイクルの現状 ・参加数：2 名 <p>c)給排水衛生設備委員会 大規模厨房設備設計検討小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 7 月 20 日（火） ・テーマ：公共施設としての給食センターのあり方 ・参加数：22 名 <p>d)住宅設備委員会 住宅設備の BIM 活用検討小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 10 月 18 日（水） ・テーマ：住宅設備設計テンプレートと BIM のあり方について ・参加数：12 名 <p>e)コミショニング委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 29 年 10 月 30 日（月） ・テーマ：ビジネスとしてのコミショニング普及に向けて ～オーナーが語る

Cxの有用性と課題～

- ・参加数：65名
 - f)ビル管理システム委員会 建物エネルギーシステムの運用最適化検討小委員会
 - ・開催日：平成29年11月1日(水)
 - ・テーマ：建物エネルギーシステムの運用最適化の実施動向と今後の課題
 - ・参加数：54名
 - g)空気調和設備委員会 ZEB 計画指針検討小委員会
 - ・開催日：平成29年12月11日(月)
 - ・テーマ：ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の先進事例
 - ・参加数：100名
 - h)空気調和設備委員会 次世代型地域エネルギーシステム検討小委員会
 - ・開催日：平成29年12月21日(木)
 - ・テーマ：これからの地域エネルギーマネジメント
 - ・参加数：45名
- 5) 出前講座
- ・開催日：平成29年9月8日(金) 12:35～14:05
 - ・場所：大阪府立布施工科高等学校・視聴覚室
 - ・参加者：78名(設備システム専科 2年生:37名・3年生:41名)
 - ・講演時間：第一部 12:35～13:15(40min.)
第二部 13:25～14:05(40min.)
 - ・講演者：第一部 空気調和・衛生工学会 フェロー 会長 奥宮 正哉
(名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
第二部 空気調和・衛生工学会 フェロー 理事 平岡 秀明
(三機工業 京都支店長)
 - ・配布資料：講演第一部資料(環境と空気・水・熱パンフレット)
講演第二部資料(「建築設備の担い手」パワーポイント印刷資料)
空気調和・衛生工学会 パンフレット
日本空調衛生工事業協会(日空衛)パンフレット
 - ・内容
 - (第一部) 学会で作成した「環境と空気・水・熱」およびそのPPTを活用して、建築設備について解説をし、建築設備のあり方や省エネルギーへの取り組みなどこれからの課題も提示した。
 - (第二部) 「建築設備の担い手」というタイトルで講演者作成のPPTにより、建設業とは?から始まり、建設業の流れ、立場など、また、建設業の醍醐味やその中における建築設備のありかたなど、更には、建築設備技術者として必要とされる技術の提言や、近年の建築物における建築設備の占める割合が大きく、重要となってきたことなどを解説した。

6) 見学会（創立 100 周年の冠を付けて実施したもの）

a) ペプチドリーム本社・研究所

・開催日：平成 29 年 6 月 22 日（木）

・参加数：30 名

b) 京橋エドグラン

・開催日：平成 29 年 7 月 12 日（水）

・参加数：30 名

c) 竹中工務店東関東支店 ZEB 化改修

・開催日：平成 29 年 8 月 29 日（火）

・参加数：30 名

以上

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	12・記念支部行事 WG
部会長・主査名	主査 木虎 久隆（前技術理事） 主査 浅野 勝弘（技術理事）
事業内容	<p>各支部にて記念行事を下記の通り実施した。</p> <p>◇北海道支部 記念講演会 テーマ： 『流体工学的視点での in silico human model』 日時： 平成 30 年 1 月 23 日 16 時～18 時 場所： 北海道大学工学部 参加者： 32 名</p> <p>◇東北支部 記念講演会 テーマ： 『関連学協会賞作品にみるスマート設備システムへの取組その 1』 ～大規模街区と中小ビルにおける環境負荷低減の最先端技術～ 日時： 平成 30 年 1 月 16 日 14 時～16 時 30 分 場所： ㈱ユアテック 参加者： 80 名</p> <p>◇中部支部 記念見学会 テーマ： 『‘ものづくり’における環境への取組みと施設見学』 日時： 平成 29 年 9 月 8 日 12 時 30 分～18 時 場所： パナソニックエコシステムズ本社 参加者： 33 名</p> <p>◇北信越支部 記念講演会 テーマ： 『固有の技術を活かして、新成長産業へ挑む』 ～地方創生と地場産業の使命～ 日時： 平成 29 年 5 月 26 日 16 時～17 時 20 分 場所： 福井パレスホテル 参加者： 53 名</p> <p>◇近畿支部 記念シンポジウム テーマ： 『空気調和・衛生工学会のフロンティア:今後 100 年の展望』 日時： 平成 29 年 12 月 22 日 13 時 30 分～17 時</p>

場所 : 大阪大学中之島センター

参加者 : 109名

◇中国・四国支部

記念講演会

テーマ : 『建築環境・設備技術者が描く建築設備の将来』

日時 : 平成29年10月27日 13時30分～17時30分

場所 : サテライトキャンパスひろしま

参加者 : 73名

◇九州支部

記念シンポジウム

テーマ : 『熊本地震後のいま、学ぶこと、考えること、実践すること』

日時 : 平成29年10月20日 14時～17時

場所 : TERASO-Iビル

参加者 : 201名

記念見学会

テーマ : 『農業における省エネと生産性向上への取組み(生物資源センター)』

『基幹災害拠点病院である最新医療センターにおける省エネルギーへの
取組み(好生館)』

日時 : 平成29年11月21日 10時～17時

場所 : 佐賀県医療センター好生館、九州電力(株)生物資源研究センター

参加者 : 22名

以上

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	13-国際対応 WG
部会長・主査名	主査 大岡 龍三
事業内容	<p>本事業では、海外著名研究者による講演会、海外交流協定締結団体代表者による国際ワークショップ、100周年記念式典における海外交流協定団体代表者の招へいを行った。</p> <p>1) 海外著名研究者による講演会 開催日：平成 29 年 5 月 12 日（金）15：00～17：00 会 場：東京大学生産技術研究所 参加者：50 名</p> <p>平成 29 年度本会国際名誉員受賞者である Kwang Woo Kim 教授を招き、「10 Questions on Radiant Heating and Cooling Systems」というタイトルで講演会を開催した。</p> <p>本講演では、放射冷暖房システムに関する 10 の関連トピックを紹介し、システム適用の理解を深めるための説明を行い、聴衆から多くの質問を受けた。</p> <p>2) 海外交流協定締結団体代表者による国際ワークショップ 開催日：平成 29 年 11 月 30 日（木）13：00～17：00 会 場：工学院大学 アーバンテックホール 参加者：137 名</p> <p>海外交流協定締結団体から代表者を招へい、Cheng-Li Cheng 会長 (AIT), Bjarne Olesen 会長 (ASHRAE), Wei Xue 委員長 (CCHVAC), Vishal Kapur 会長 (ISHRAE), Kwang Woo Kim 初代会長 (KIAEBS), Stefano Corgnati 会長 (REHVA), Choi Jun 国際担当理事 (SAREK)。</p> <p>本ワークショップは、「Workshop on World Collaboration for Creating Future-From Viewpoint of Built-Environment」と題して、前半は、本学会奥宮会長を含め、各団体の紹介と、取り組みについて説明がなされた。後半では、田辺副会長がコーディネータとなり、前半の講演者による将来の国際協力についてのパネルディスカッションが行われた。特に ZEB, SDG などのテーマについて活発な議論が行われるとともに、聴衆からも多くの質問が出た。なお、本ワークショップ後に、ワークショップ講演者と国際対応 WG などの関係者で交流会を行った。</p> <p>3) 100周年記念式典における海外交流協定団体代表者の招へい 開催日：平成 29 年 12 月 1 日（金）15 時 00 分～17 時 50 分 会 場：明治記念館 蓬莱の間 招待者：525 名</p> <p>100周年記念式典において、海外交流協定締結団体から代表者、Cheng-Li Cheng 会長 (AIT), Bjarne Olesen 会長 (ASHRAE), Wei Xue 委員長 (CCHVAC), Vishal Kapur 会長 (ISHRAE), Myung-Jun Kim 会長 (KIAEBS), Stefano Corgnati 会長 (REHVA), Hiki Hong 次期会長 (SAREK) を招へいし、祝辞を賜った。</p>

また式典後の記念祝賀会にもご参加頂き、本会員との活発な交流を深めた。
なお、本式典の前に、新国立美術館と虎ノ門ヒルズのエクスカージョンツアーを実施した。

海外交流協定締結団体からのご祝辞は、来日できなかった AIRAH と SCANVAC と合わせて本学会学会誌 2018 年 1 月号に掲載された。

100周年記念事業組織委員会 事業報告

部会WG名	14・環境と空気、水、熱 WG
部会長・主査名	主査 平岡 雅哉
事業内容	<p>本事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1) 「環境と空気・水・熱」の100周年記念事業版の作成 「環境と空気・水・熱」の100周年記念事業版として、90周年事業にて作成した冊子の内容に対して、技術の進化、さらに21世紀ビジョンでの当学会の新たな方向性の観点にて大幅に見直した。また、100周年事業として相応しい、表紙のデザインを採用し、冊子版を発行した。学会ホームページにて公開した。</p> <p>2) 「環境と空気・水・熱」のパワーポイント化 「環境と空気・水・熱」の100周年記念事業版のパワーポイント版をナレーション入りで作成した。100周年事業としての、出前講座に活用した以外に、大学での授業でも利用できるように、基礎事項を補足して作成し、学会ホームページにて公開した。</p> <p>3) 「環境と空気・水・熱」の100周年記念事業版、英語バージョンの作成 当学会の国際化に配慮して英語バージョンを作成し、学会ホームページにて公開した。</p> <p>4) 「環境と空気・水・熱」のパネル化 支部における100周年記念事業行事等において、展示することを想定し、「環境と空気・水・熱」のパネル化を実施した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>